

コース名		科目名		選択科目名		対象学年		
良医の礎		リベラルアーツ選択 I		ワンダーサイエンス		1		
開講学期		科目責任者		選択科目責任者				
2 学期		西松 伸一郎		西村 泰光				
目的								
研究者による多様な科学研究について見聞することにより、医学・医療の発展における研究の重要性を認識し、また自らの科学的探究心を高め、常識を疑う力を身につける。								
授業到達目標								
1. 日常で目にする自然現象に関心を持ち自ら考えることができる。 2. 疾患の背景には生命の仕組みがあり、その仕組みには自然や環境が関わっていることを説明できる。 3. 医学を極めるためには幅広い自然科学への見識が必要であることを説明できる。 4. 科学には常に新たな発見があり、医学の進歩には常識を疑う力が必要であることを説明できる。 5. 研究者による多様な科学研究が医学研究に結びつき先進医療を支え社会に貢献していることを説明できる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/18	水	1	講義	西村泰	衛生	ワンダーサイエンスで何を学ぶのか？	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
2	9/25	水	1	講義	氷見	生理 2	ランニング万能説！？	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
3	10/ 2	水	1	講義	井関	免疫	侵入者から身体を守る免疫の仕組み - くせ者だ！出会え出会え！	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
4	10/ 9	水	1	講義	小島	自然	転写因子が一つ足りないマウスの話	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
5	10/16	水	1	講義	堺	微生物	新型インフルエンザウイルスはどこからくるのか。	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
6	10/23	水	1	講義	北風	薬理	細胞から学ぶストレス解消術	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
7	10/30	水	1	講義	渡邊昂	病態代謝	少しだけ甘い糖の話	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
8	11/ 6	水	1	講義	橋本謙	生理 1	医学の向こうに広がる不確かな宇宙 - 無知の知 -	PR-03-01-01, RE-01-01-01 RE-01-02-01, PS-01-01
評価方法								
[その他] 100% [評価方法] その他 (eリアクションペーパー) [備考] 授業毎に提出する eリアクションペーパー (eRP) を 100 点満点で評点を付け(欠席した場合、即ち eRP の提出が無かった場合には当該講義の評点は 0 となります)、全講義の平均点を総合評価とする。eRP は授業時間内(最後の 15 分程度)に各人がスマホ or タブレットで入力し送信=提出する。講義を聴いて気付いた事、感じたり驚いた事や、またそこから浮かぶ疑問や自分の考えなどなど…その脳内から迸る全てを指先からスマホやタブレットに打ち込んで欲しい!(出来るだけ沢山書くこと!) 授業スライド内で提示する QR コードを介した「Live reaction」に参加して、授業を楽しもう!! ※eRP へ要求されることは、その回によりけり、担当教員が独自に質問を設けるなど、アレンジしている場合も有ります。お楽しみに!! ※eRP へのアクセスは当日 QR コードにて示されます。								
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて								
eRP には質問欄もあり、回答先(e-mail アドレスなど)を付記することで担当教員に直接質問することが可能。重要な指摘や疑問への回答はポータルシステムを通じて履修者全員で共有し、一層の学習効果を期待する。								
教科書								
各回、講義担当者がスライド、プリント、動画等の資料を準備し教科書・参考書に代える。								
参考書								
(特になし)								
準備学習(予習・復習等)								
日常生活に存在する自然現象に関心を持ち、植物や動物、そして人間が生きていることを不思議に感じ、私たちの体は、命は、生物は、どうなっているのか? 素朴な疑問を頭に浮かべ、自問自答しておく。あらゆるメディア・媒体で目にする科学記事に関心を持ち、自分でもまた考える。以上を予習および講義後の復習として課す。それぞれ概ね 30 分程度を充てるのが好ましい。								
講義についての注意事項								
各回の先生の話から、自然の不思議、生命の不思議を感じよう!!! あなたが医師になるならば、人を知らねばならず、人を知るには生命を知らねばならない!!! この講義を通じて、自然・生命への関心が高まり、人間を理解し、医学の学習が一層高まることを期待しています。								

昨年度からの変更点・改善項目

★2019年度から原則紙によるリアクションペーパーの回収をせず、各人のスマホ or タブレットによる回答、eRP をスタート。eRP への回答内容を見ても一層の考察を加えた記述が見られるなど良い効果がありました。2021年度より開始した、授業スライド内で提示するQRコードを介して履修者との双方向DX授業を実現する「Live reaction」を実装し、リアルタイムでのレスポンスを高め（全員で共有し）、高いライブ感の有る学生参加型の授業を指向し、それにより研究マインドが一層育成される講義を目指します。

★今年度は、令和4年度改訂版医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づき、特に「常識を疑う」ことの重要性を意識付ける内容となるよう強化を図る。

★「先生の授業から僕の好きな歌を思い出します。それは・・・」「授業を聞いて、生命への理解が一層深まり、生命を繋ぐ医学である産婦人科医師となる思いが一層強くなった」など、これまで教員自身が学びとなるコメントを多数頂きました。今年もそれらを糧に、もっともっと”オモシロ楽しい”ワンダーサイエンスとなるよう努めます。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

研究者による多様な科学研究を紹介することによって、医学・医療の発展における研究の重要性を認識させ研究マインドの育成に寄与する。

この科目は、主として卒業時コンピテンスの「医師になるための基本的な資質・能力」と「医学知識と医療技術の修得」、「社会への貢献」、「高い問題解決能力」の達成に向けて設定されている。

ナンバリング

GLLA108